

飼育員 日誌

長野・須坂市動物園



長かった「猛暑」

今年度は全国的に暑い夏となり、信州須坂も36度の日々が続く強烈な「夏」でした。9月下旬になっても猛暑日がおさまらず、10月に入ってようやく最高気温が30度を切るようになりま

急激な気温変化 体調管理に苦慮



したが、10日もしないうちに最高気温が20度前後と急激に涼しくなってしまう最低気温も10度を下回る日々となっています。

突然の「秋」に動物たちは体

調を崩すものも出ており、飼育員と獣医師は大慌てです。

暑くて動物たちの食欲が上がらない「夏」が通常より約1カ月も長く続き、例年より食欲の「秋」が遅く始まりました。写真が、寒さに適応する体を作る間もなく、ここ信州須坂には早い「冬」が訪れてきてしまいます。

寒い冬に備えての動物たちの餌の増量や、冬支度のタイミングがなかなかつかめず、今年度は動物たちにいろいろな面で負担が多くなってしまい反省しています。

来年度は長い「猛暑」の対策を行うと同時に、短い「秋」と早い「冬」の対策をしたいと思っています。

(南園動物担当 小林哲也)